

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/06/13号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

インフレ不安、ゴールドを押し上げる

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



1850ドル近辺で静かな一週間でしたが、金曜日のCPIでマーケットは大きく動きました。5月のCPI、事前の市場予想は8.3%と4月と同じレベルでしたが、発表された数字は8.6%と市場予想の8.3%を大きく上回り3月の8.5%をも越えて40年降りの高値を塗り替えました。ゴールドは最初急騰した長期金利に対して1850ドルから1830ドルへ急落、しかしその後は株価の下落、そしてインフレへのヘッジとしての買いが入り急騰。1872ドルと3週間ぶりの安値から4週間ぶりの高値に上昇して一週間が終わりました。ゴールドのマーケットはここしばらくの間、金利上昇（弱材料）とインフレ（強材料）との間での綱引き状態でしたが、この金曜日の動きでインフレへの不安がこの綱引きに勝ちつつあるように思えます。この値動きをみる限りおそらく多くの投資家が、FRBがインフレを終息させることは、少なくとも短期的には不可能であるとみていることがわかります。来週のFOMCではまず確実に0.5%の利上げとなることでしょうか、このインフレに対してどれくらいFRBが真剣にコミットするのか、そしてその態度次第では経済を不景気に導く可能性があるだけにパウエル議長の言葉が大きく相場を動かすことになるかもしれません。FRBのこれからの政策によってインフレを抑えきれないものではないと考えるマーケット参加者が多いという現状ではやはりゴールドが一番のインフレヘッジとして買われると思います。これだけの金利の上昇、そしてドルの上昇にもゴールドが下げないどころか買われて上昇しているのがそれを示しているでしょう。円建てゴールドもふたたび8000円台へと大きく上昇し、金曜日の引けは8090円と4月19日につけた8173円歴史的な高値の更新が見えてきました。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

ゴールド以外の貴金属-シルバー 9

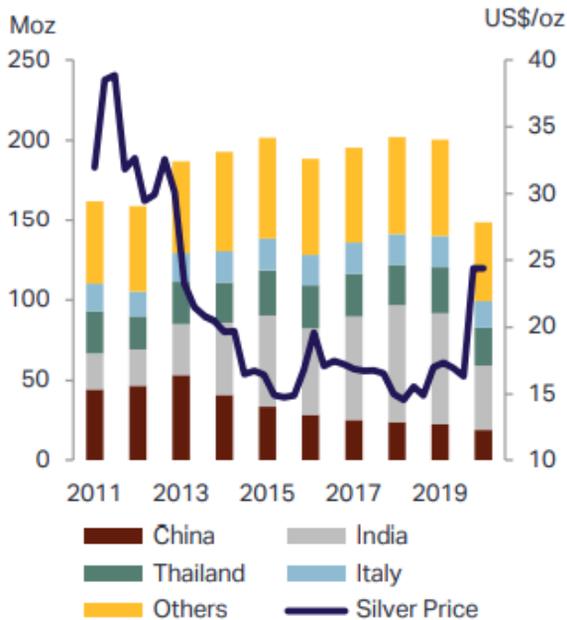
「シルバーの需要 4」

d. 宝飾と銀器

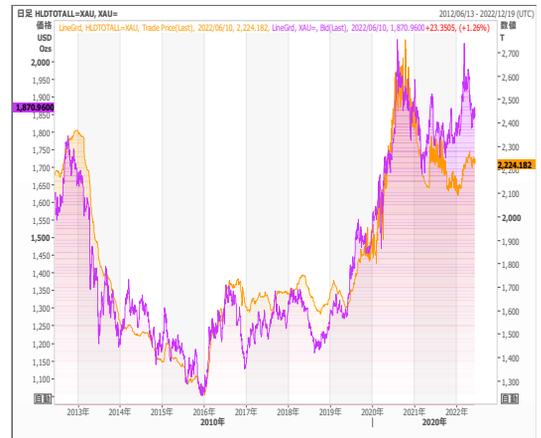
宝飾品需要（5,734トン）もシルバーには大きな需要分野になっています。最大の需要国はインドで、それに続くのがタイ、中国、そしてイタリアとなります。銀器需要（1,340トン）はいわゆる銀食器ですが、こちらもインドが最大の需要国です。中世には欧州の貴族が好んで銀食器を使っていました。その一つの理由として、毒殺に使われるヒ素に反応して色が変わるから、と言われていています。シルバーは値動きが激しいだけに、相場の高騰時には、固定価格で販売される銀器が割安になり、大きく買いあされ、溶かされてシルバーとしてマーケットに環流することがあつたりします。

（世界のシルバー宝飾需要）

Global Jewelry Fabrication



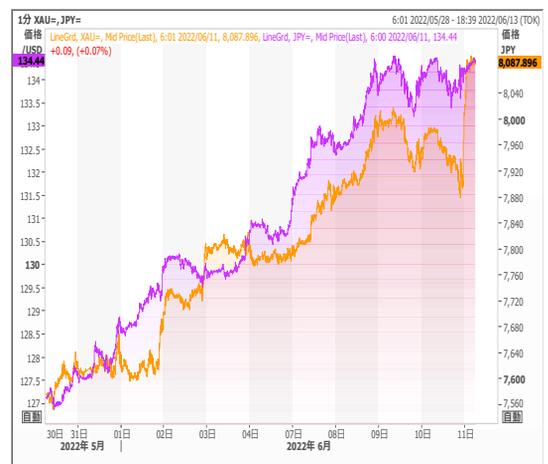
Source: Metals Focus, Bloomberg



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

